

音楽監督 富岡 健 先生
京都府合唱連盟大賞「藤堂賞」を受賞！

2017年6月、ロームシアター京都において、私たちの音楽監督・富岡健への京都府合唱連盟大賞「藤堂賞」授与式が行われました。受賞理由に掲げられた「オペラ・管弦楽・合唱の指揮者として…」「編曲・構成・演出を自ら手掛け新しい音楽空間を創造…」という評価は、そのまま私たちの活動指針と重なります。私たちも富岡健とともに「新しい音楽空間」の発信に努めてまいります。

京都府合唱連盟大賞
Kyoto Chorus Grand Prize

富岡 健 様

同志社グリークラブの指揮者であった貴方は
法学部卒業後に音楽の道へと進まれ
オペラや管弦楽として合唱など
今やプロの指揮者として活躍されています

とりわけ合唱においては
合唱団の能力を最大限に引き出す
卓越した指導力を発揮され
多くの合唱団の指導をされてこられました
中でもフラワー・コーラスを
幾度も「おかあさんコーラス全国大会」へと導き
1997年のグランプリ獲得をはじめ
常に高い評価を得ることで
京都の女声合唱を全国へ強く印象付けるとともに
京都の団体が目標とする女声合唱団に育てられました

また昨年12月には指導される5つの合唱団を集め
「合唱って楽しい!!」と銘打った演奏会を開催
編曲・演出・構成すべてを自らで手掛け
耳も目をも魅了する新しい音楽空間を創造され
文字通り合唱の楽しさと
合唱が持つ表現力の素晴らしさを
満席のお客様に届けられました

こうした多大なご功績を称えとともに
今後益々のご活躍を願い
ここに京都府合唱連盟大賞を贈ります

平成29年6月3日

京都府合唱連盟理事長
鈴木 捺香子

推薦メッセージ（遺稿）

大阪音楽大学客員教授・
関西合唱連盟名誉会長 日下部吉彦



日本の合唱音楽の水準は、世界が認めるほどの高さですが、ひとつ不満があるとすれば、音楽が、やや“内向き”といえるでしょうか。この音楽を、だれに聴かせたいかという意識。仲間やその周辺の人たちだけでなく、大きくいえば広く、社会の人たち。ふだんは全く関係のない人たちにも訴えて、こちらを向かせようという積極的な姿勢ですね。そのためには、高度な技術と音楽が必要。それを身につけている指揮者が富岡健さんです。意表を突いた表現、演出があり、客席を引きずり込んでしまうのです。これは、ホンモノの音楽だからこそ出来ることなのです。これらのことは、素晴らしい能力を持つ指揮者、合唱団と、それを受け入れる客席の聴衆のみならず、富岡さんの、このような“百面相”を、どうぞお楽しみください。

追記 日下部先生は17年12月に天に召されました。先生の励ましのお言葉を心に留めるために、原稿のまま記載させていただきました。（富岡）



大阪コンソートの団員に聞きました。
富岡先生の魅力を
「漢字一文字」で
表すと…



楽 音楽と密着した生活で人生を楽しんでいらっしゃる。ご自身で楽しみ…また、人々を楽ませておられます。パーティでも皆さんが楽しんでいる姿をそっと見守っていらっしゃることもある。

好 特に女性と子供にやさしい

愛 長・光… いつも明るく私達を愛情いっぱいひっぱって行って下さっています。そういう言葉も含まれて…「愛」にしました。深い愛情を持っていらっしゃる先生だと思います。

響 空気中に音が聞こえるって先生が言われる。今ある空気に自分の声をボンと乗せたらええねんっておっしゃるとなるほどと思います。先生のおっしゃるようにならなりたいと思うからです。

然 人団当時、「響け！うみの鼓動」の練習見学をした際、水のいのちを聴きながら、心の底から響きわたる合唱を経験させて頂きました。

温 先生のお人柄を表わすこの字です。厳しい言葉の奥に温かさを感じます。

匠 先生のお人柄を表わすこの字です。厳しい言葉の奥に温かさを感じます。

瞳 冗談を言っている時のかわいい瞳！歌っている私たちをみつめる時に厳しい瞳！うまく歌えた時の喜びをあらわしている瞳！表情が豊かな瞳をみて歌い続けてきたように思うからです。

微笑 忘れる事の得意な団員も少なくないなか、練習に遅れているときは勿論、そうでも無い時も、常に笑顔と目遣い達だんダンス溢れるジョークで我々は一歩一歩、遅ればせながら目標に導かれている。この巧みなテクニックは永年の努力は勿論、天性のものとも聞かせる。尚、二文字の漢字で表現するならば「微笑」も私の中の選択だ。

「いつもその場を明るくして下さい」所です。練習中に突然面白いギャグを先生は私よりずっと若いのにこんな古い事知ってはるんやわとうれしくなります。笑顔が絶えません。

「響け！うみの鼓動」の練習見学をした際、水のいのちを聴きながら、心の底から響きわたる合唱を経験させて頂きました。

忘れる事の得意な団員も少なくないなか、練習に遅れているときは勿論、そうでも無い時も、常に笑顔と目遣い達だんダンス溢れるジョークで我々は一歩一歩、遅ればせながら目標に導かれている。この巧みなテクニックは永年の努力は勿論、天性のものとも聞かせる。尚、二文字の漢字で表現するならば「微笑」も私の中の選択だ。

「いつもその場を明るくして下さい」所です。練習中に突然面白いギャグを先生は私よりずっと若いのにこんな古い事知ってはるんやわとうれしくなります。笑顔が絶えません。

カトリック大阪大司教区
聖マリア大聖堂
十二年四月



フォーレレクイエム
祈りと音楽に
寄せられたメッセージ

全日本合唱連盟名誉会長 浅井 敬壹



富岡先生と合唱団 大阪コンソートが、東日本大震災で親を亡くされた子どもさんを応援したいと、育英のチャリティのために催されたこの演奏会。天上におられるお父様お母様が、一番お喜びだと思います。今日、祈りの歌がこの大阪カトリック大聖堂で歌われること、そこには、鎮魂と復興の願いを祈り届けたいという、富岡先生のお気持ちが強く反映されており、その思いの深さに敬意を表します。

合唱はもちろん、オーケストラにも精通され、優れた指揮者である富岡健先生と、富岡先生の音楽を通して集結され益々発展を続けられる合唱団 大阪コンソートによるフォーレ・レクイエム。必ずや、その思いが、その音楽が、天に地に響きわたり、被災された皆様のもとへ、そして、被災された皆様に思いを寄せる人々すべての胸へ、届くものと確信致します。

作曲家・故高田三郎先生令夫人
高田 留奈子



09年に滋賀において開催された「響け、みずうみの鼓動」演奏会で富岡先生は京阪神の女声合唱団200名を指揮して、夫の組曲「水のいのち」を演奏されました。女声ならではの清らかさ、優しさに溢れた感銘深い演奏でした。ことに第4曲「海」はAve Mariaに見られる聖母マリアの愛を感じさせる祈りのように、心に深く沁み入るものがありました。

このたび、東日本大震災で被災された方達の鎮魂と復興のために、富岡先生のご指揮によるフォーレのレクイエムが演奏されます。神聖な大阪カトリック大聖堂において、先生の深い信仰とご熱意による演奏は、必ずや亡くなれた方達の霊を慰め、また被災された方達が復興への希望と勇気を得られることでしょう。私も共に祈りながら、心からご支援いたします。